

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 I 】 |
| 2 実施対象者 | 広島県立呉三津田高等学校 全学年生徒（573名） 教職員（40名） 保護者3名 計616名 |
| 3 展開の形式 | （1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育・ ） ② その他（ LHR ） |
| 4 目標 （ねらい） | ○オリンピック・パラリンピック教育を実施することで、生徒のスポーツ・運動の価値や目的の意義の理解を深め、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進する。 ○オリンピックから競技力を向上するための工夫や経験を学び、自己の実現に資する。 |
| 5 取組内容 | 1 事前学習① 「オリンピック・パラリンピックの意義・歴史・現状について」 対象：全学年生徒（573名） 方法：講義（2時間程度） 教材：「I'm POSSIBLE」 ※公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会作成。 DVD：「夢に向かって～車いすアスリートの挑戦」 車いすアスリート副島正純 ※早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター作成。 →授業後、学習の振り返りとしてレポートを1枚提出。 2 事前学習② 「新体操メダリスト 田中 琴乃（たなか ことの）さん について」 対象：全学年生徒（573名） 方法：各教室または廊下に掲示。 ホームページ・学習クラウドサービスに掲載。 教材：メダリストの競技歴・現在の活動等をもて、質問を考える。 3 出張講義 「新体操メダリスト 田中 琴乃（たなか ことの）さん ～夢に向かって～」 対象：全学年生徒（573名） 教職員（40名） 保護者（3名） 方法：メダリストの講演及びデモンストレーション 教材：メダリスト作成のパワーポイント 本校作成のレポート用紙（感想文） |



4 事後指導

「オリンピック・パラリンピックまたはスポーツへの関わり方」

「自らの自己実現に向け、今後どう生きていくべきか」

対象：全学年生徒（573名）

方法：レポート（感想文）1枚提出

教材：本校で作成

| | |
|--|---|
| <p>6 主な成果</p> | <p>感想文の結果は以下の内容が多く見られ、目的に沿った成果が見られた。 （アンケートについては、本校で集約は未実施） ○オリンピック・パラリンピックの意義・目的への理解が深まった。 ○将来の自身のスポーツの関わり方について、じっくり考える機会になった。 ○スポーツに「する・みる・知る・支える」の4観点があることを知った。 ○東京オリンピック是非見に行きたい。 ○新体操「フェアリージャパン」を応援していきたい。 ○自身も目標に向け、日々チャレンジしていきたい。</p> |
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <p>オリンピック・パラリンピックの価値や目的、意義を理解し、自らも東京2020にかかわる一人としての課題意識を持たせ、オリンピックの講義に臨ませるために、事前指導を中心に次の点を工夫した。 ○全学年に体育理論の時間で事前講義を実施（50分×2）。 ○全学年に事前に資料を提示し、メダリストに向けての質問を考えさせた。 ○メダリストが与える価値を実感するために、講義だけでなく、デモンストレーションを依頼した。</p> |
| <p>8主な課題等</p> | <p>○学習成果を図るために、事前アンケートも作成・実施する必要があった。 （自由記述だけでは評価が難しい。数値で評価することも必要） ○オリパラ教育を校内で推進する際に、一過性のものにならないように、他教科と連携して継続的に取り組むことが必要。 （例 政経でオリンピックと経済を学ぶ、倫理でオリンピック精神について学ぶ、国語でオリンピックを題材した内容を扱う など） ○校内だけでなく、地域のオリンピック・パラリンピック教育推進の拠点となる。 （例 学校行事として、保護者・地域と連携した活動を計画。クラブ活動を中心に地域の小・中学校に交流を図る など）</p> |
| <p>9来年度以降の実施予定</p> | <p>次年度は、校内だけでなく、地域と一体となった活動を実施していきたい。そのために、校内だけでなく地域に向けて、宣伝を早めから行っていく。 また、オリパラ教育を一過性ではなく、年間を通じて、推進していくために、保健体育科だけでなく、他教科等や行事と絡ませて実施していきたい。</p> |